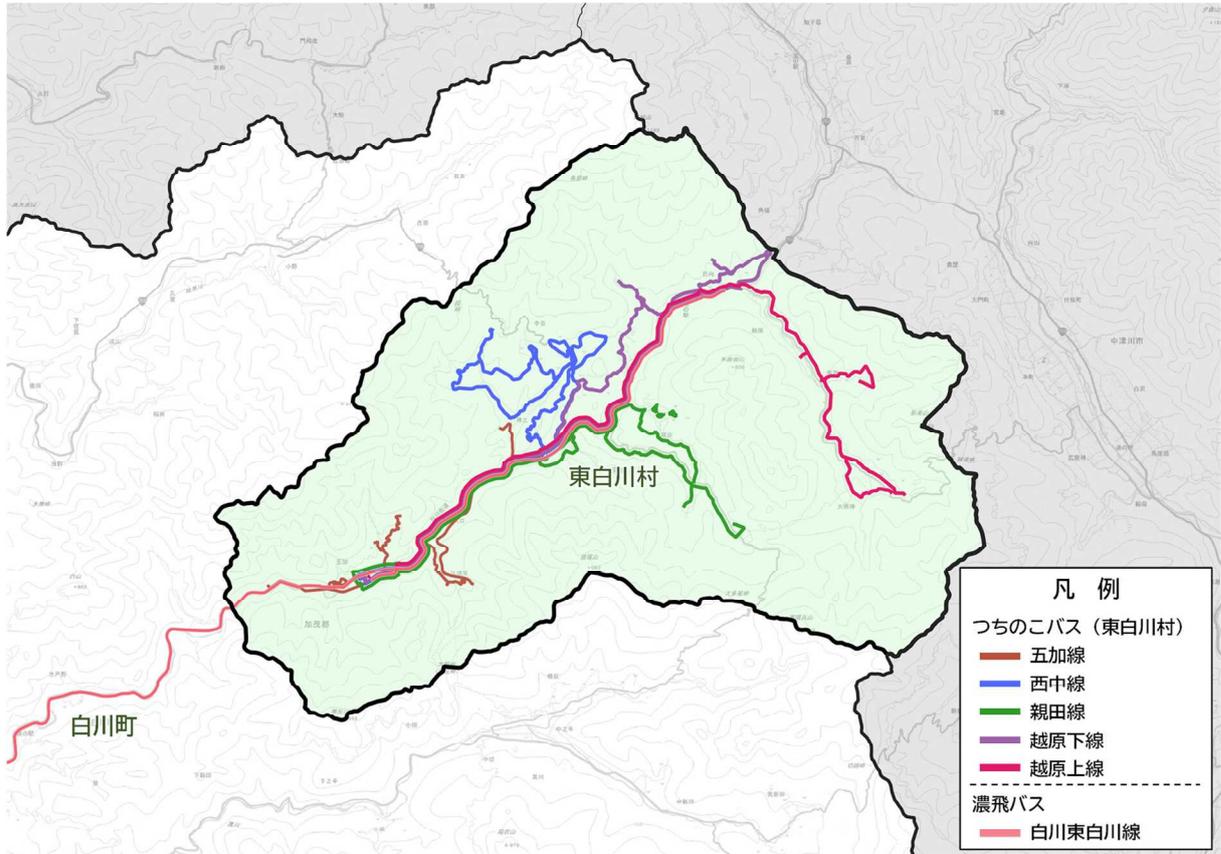


(10) 東白川村



東白川村 つちのこバス	
運行区間	<ul style="list-style-type: none"> ■五加線 ■西中線 ■親田線 ■越原下線 ■越原上線
運行形態	・道路運送法外
実施主体	・東白川村
運行事業者	・東白川村
運行概要	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年10月に運行が開始された無料の定時定路線型のバスで、毎日運行されています。 ・保健福祉センターを起点として、東白川村内の越原地区、神土地区、五加地区の間に運行されています。 ・全区間でフリー乗降制が導入されており、ルート上であればどこからでも乗降できます。

2. 公共交通を利用して行ける施設

(1) 高校

- ・どの地区からも、いずれかの高校まで公共交通を利用して通学することができます。
- ・八百津町、白川町、東白川村の山間部では、公共交通で通学できる高校が限定されています。

行ける・行けない表（高校）【公共交通・徒歩のみで移動する場合】

行き先 居住地区		高校												
		加茂高校	加茂農林高校	美濃加茂高校	可茂特別支援学校	可児工業高校	可児高校	帝京大学可児高校	東濃高校	東濃実業高校	関有知高校	関高校	関商工高校	八百津高校
美濃加茂市	太田	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○
	古井	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○
	山之上	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	×	△
	蜂屋	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	加茂野	○	○	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	△
	伊深	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	三和	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	下米田	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	○	△	○
坂祝町	坂祝	○	○	○	○	○	△	○	△	○	△	○	△	
富加町	富加	○	○	△	△	△	△	△	△	△	○	○	△	
川辺町	川辺西	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	○
	川辺東	○	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	川辺北	○	○	○	○	△	△	○	△	△	△	○	△	△
七宗町	上麻生	○	○	○	△	△	△	○	△	△	△	○	△	△
	神淵	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	△
八百津町	八百津	○	○	○	○	△	△	△	△	○	△	△	×	○
	和知	○	○	○	○	△	△	○	△	△	△	△	×	○
	錦津	○	△	△	○	△	△	△	△	○	×	△	×	○
	久田見	○	△	△	○	△	×	×	△	△	△	△	×	○
	潮見	○	△	△	○	△	×	×	△	△	×	△	×	○
白川町	白川	△	△	△	△	△	×	△	×	△	△	△	×	△
	蘇原	△	△	△	△	△	×	△	×	△	△	△	×	△
	黒川	△	△	△	△	△	×	△	×	△	△	△	×	△
	佐見	△	△	△	△	△	×	△	×	△	△	△	×	△
東白川村	東白川	△	△	△	△	×	×	×	×	×	×	△	×	

○ 所要時間1時間未満 △ 所要時間1時間以上2時間未満 × 所要時間2時間以上 または 始業時刻(8:30)に間に合わない

※各地区の代表地点（美濃加茂市：交流センター付近、他町村：小学校付近）からの所要時間より判定しています。
 ※公共交通と徒歩のみで通学する場合について判定しています。「△」や「×」であっても、自転車や自家用車（送迎）等を利用すれば短い時間で通学できる場合もあり、必ずしも通学が困難というわけではありません。

(2) 商業施設・医療施設

- ・どの地区からも、いずれかの商業施設まで公共交通を利用して買い物に行くことができます。
- ・ほとんどの地区から、中部国際医療センターまたは白川病院まで、公共交通を利用して通院することができます。

行ける・行けない表（商業施設・医療施設）【公共交通・徒歩のみで移動する場合】

居住地区		商業施設							居住地区		医療施設		
		MEGADON・キホーテ	スーパーマーケット パロー美濃加茂店	アルビス美濃加茂店	スーパーセンター オークワ坂祝店	スーパーマーケット パロー富加店	ピアゴ川辺店	マツオカ白川店			行き先	中部国際医療センター	太田病院
美濃加茂市	太田	○	○	○	○	△	△	△	美濃加茂市	太田	○	○	△
	古井	○	○	○	△	△	×	△		古井	○	○	×
	山之上	△	○	△	△	×	×	×		山之上	○	△	×
	蜂屋	○	○	○	△	○	×	△		蜂屋	○	○	×
	加茂野	△	○	○	○	△	×	△		加茂野	△	○	×
	伊深	△	○	○	△	△	×	△		伊深	○	○	△
	三和	△	○	○	△	△	×	△		三和	○	△	△
	下米田	△	○	○	△	△	×	×		下米田	△	○	×
坂祝町	坂祝	△	△	△	○	△	×	×	坂祝町	坂祝	○	○	×
富加町	富加	△	○	△	○	○	△	△	富加町	富加	○	○	△
川辺町	川辺西	△	○	○	×	○	○	○	川辺町	川辺西	○	○	△
	川辺東	×	△	△	×	△	○	×		川辺東	△	△	×
	川辺北	×	○	○	×	△	○	○		川辺北	○	△	△
七宗町	上麻生	×	○	○	×	△	△	○	七宗町	上麻生	△	△	△
	神淵	×	△	△	×	△	×	△		神淵	△	×	×
八百津町	八百津	△	○	△	×	△	○	△	八百津町	八百津	○	×	×
	和知	△	○	○	×	△	△	△		和知	○	△	×
	錦津	×	△	×	×	×	△	×		錦津	×	×	×
	久田見	△	△	△	×	△	○	×		久田見	△	×	×
	潮見	△	△	△	×	△	○	×		潮見	△	×	×
白川町	白川	×	△	△	×	×	×	○	白川町	白川	○	×	○
	蘇原	×	△	△	×	×	×	○		蘇原	△	×	○
	黒川	×	△	△	×	×	×	○		黒川	△	×	○
	佐見	×	△	△	×	×	×	△		佐見	△	×	○
東白川村	東白川	×	△	△	×	×	×	△	東白川村	東白川	×	×	○

○ 所要時間1時間未満 △ 所要時間1時間以上2時間未満 × 所要時間2時間以上 または 500m以上歩く必要がある

※各地区の代表地点（美濃加茂市：交流センター付近、他町村：小学校付近）からの所要時間より判定しています。

※公共交通と徒歩のみで移動する場合について判定しています。「△」や「×」であっても、自転車や自家用車等を利用すれば短い時間で移動できる場合もあり、必ずしも買い物や通院が困難というわけではありません。

※営業開始時刻または診療開始時刻の前後に到着する場合の所要時間より判定しています。このため、時間帯によっては結果が若干変わる場合があります。

3. 公共交通の利用実態およびニーズに係る調査・分析

(1) 住民アンケート調査

通勤

- ・圏域内への通勤では、**自市町村内・美濃加茂市**への通勤が最も多くなっています。
- ・圏域外への通勤では、**各務原市・可児市**など近隣市への通勤が多く、**愛知県**への通勤もみられます。北部では、**下呂市**や**中津川市**への通勤も一定数みられます。
- ・通勤時の交通手段は、91%が**自動車（自分で運転）**であり、公共交通利用者でも、**最寄駅まで自動車（自分で運転）**が41%、**送迎**が11%、自転車・徒歩が48%となっており、自動車を併用している割合が高くなっています。

通学（高校生）

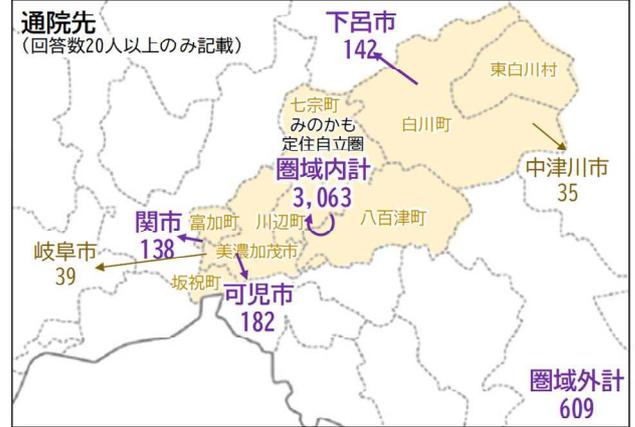
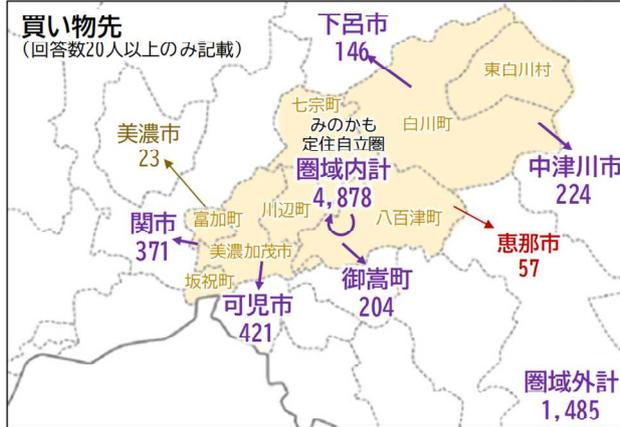
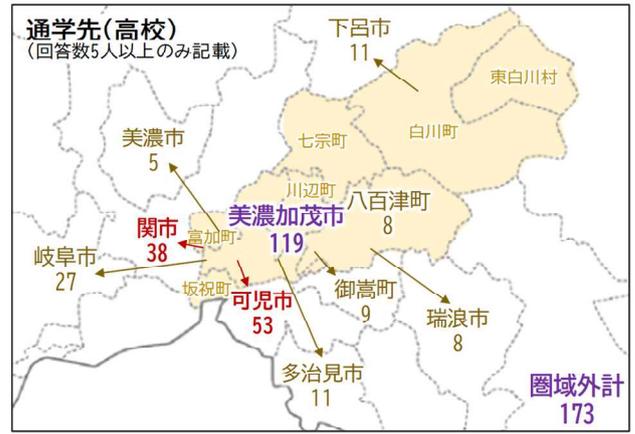
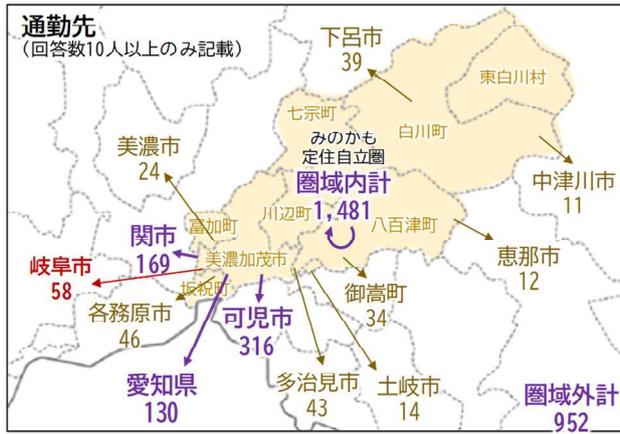
- ・東白川村を除き、**美濃加茂市内**の高校への通学が多く、美濃加茂市では**関市**や**可児市**、富加町では**関市**、八百津町では**可児市**等、**圏域外の近隣市**への通学も比較的多くなっています。
- ・東白川村は、美濃加茂市への通学は少なく、**下呂市**への通学が多いです。
- ・通学時の交通手段は、**鉄道・バス利用**が52%と多く、次いで自転車が28%、送迎が12%となっています。
- ・駅・バス停までの移動手段は、自転車・徒歩が54%、送迎が40%であり、送迎の割合が比較的高くなっています。

買い物

- ・交通手段は、**自動車（自分で運転）**が88%、送迎が7%であり、あわせて95%が自動車を利用しています。
- ・買い物は自市町村内の商業施設を利用する人が多くなっていますが、七宗町では**川辺町**、東白川村では**中津川市**が最も利用される買い物先となっています。

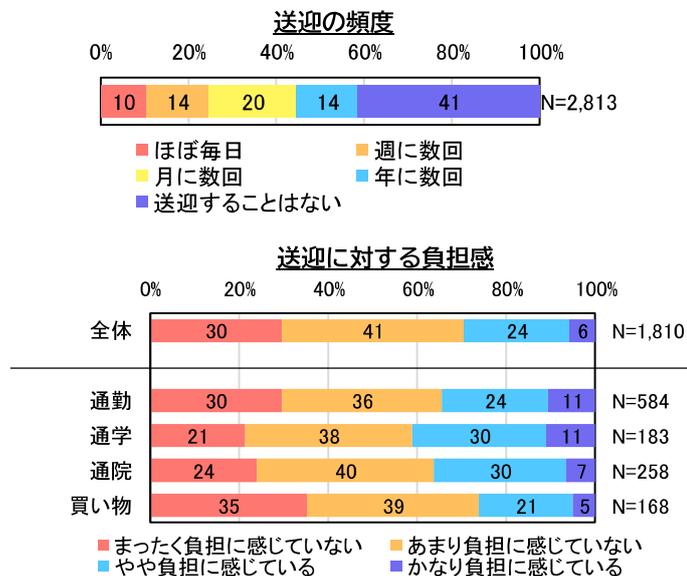
通院（高齢者）

- ・通院先は、**自市町村内・美濃加茂市**への通院が多くなっています。
- ・圏域外では、富加町は**関市**、八百津町は**可児市**、白川町・東白川村は**下呂市**への通院も比較的多いです。
- ・交通手段は、**自動車（自分で運転）**が71%、送迎が17%であり、あわせて88%が自動車を利用しています。



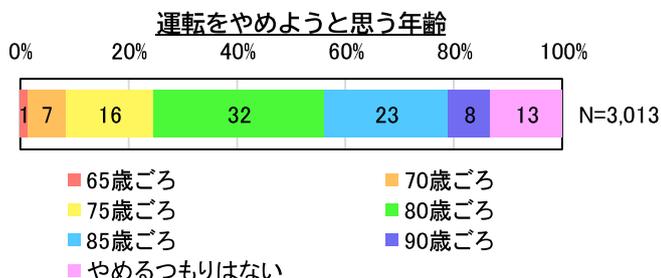
送迎について

- ・自動車運転している人のうち、24%は週に数回以上送迎しており、月に数回以上を含めると**44%の人が日常的に送迎**しています。
- ・送迎目的は、**買い物**が最も多く、次いで**通院**が多くなっています。
- ・送迎者は**同居家族が79%**だが、近所の知人等家族以外による送迎も10%程度みられています。
- ・送迎している人のうち、**30%は送迎を負担**に感じており、特に**通学**は41%と割合が高くなっています。



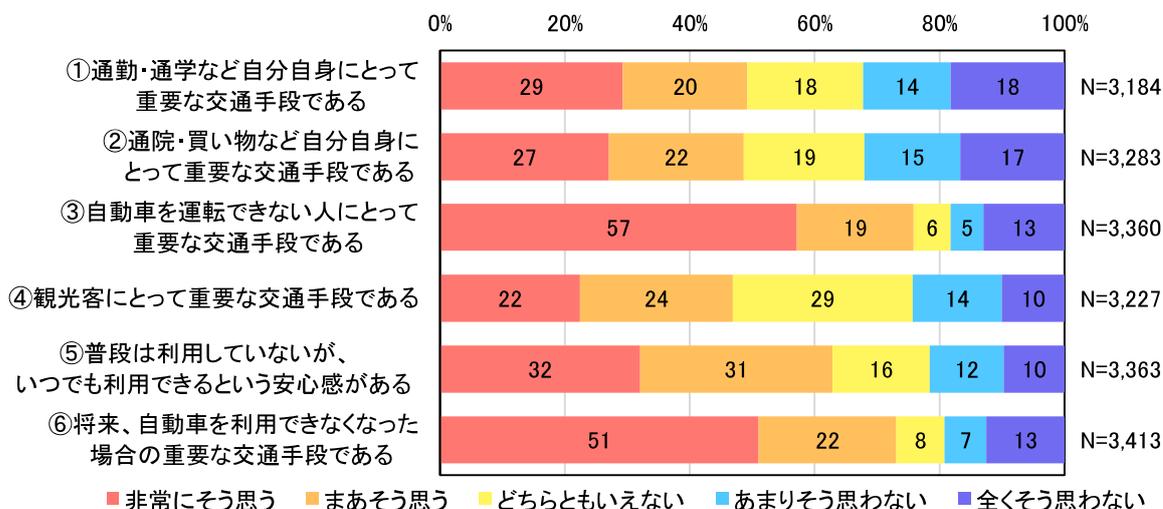
自動車の運転について

- ・自動車を運転している人のうち、20%は生活のためにやむなく運転しており、特に80歳以上は25%と割合が高くなっています。
- ・運転をやめようと思う年齢は、80歳ごろが最も多く、全体の13%は「やめるつもりはない」と回答しています。



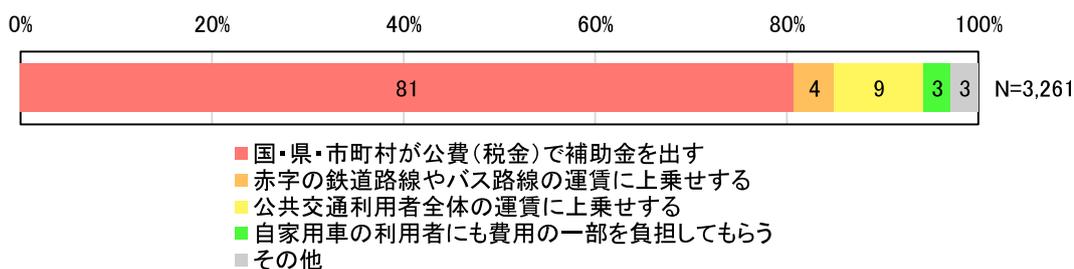
公共交通の役割に対する考え

- ・いずれの項目も「そう思う」の割合が「そう思わない」の割合よりも高く、多くの人に圏域の公共交通は重要な交通手段として認識されていると考えられます。
- ・「③自動車を運転できない人にとって重要な交通手段である」、「⑥将来、自動車を利用できなくなった場合の重要な交通手段である」の割合が73~76%と高くなっています。



公共交通の維持に対する考え

- ・81%が「国・県・市町村が公費で補助金を出すべき」と回答しています。



(2) 高校生アンケート・高校生保護者アンケート調査

通学手段

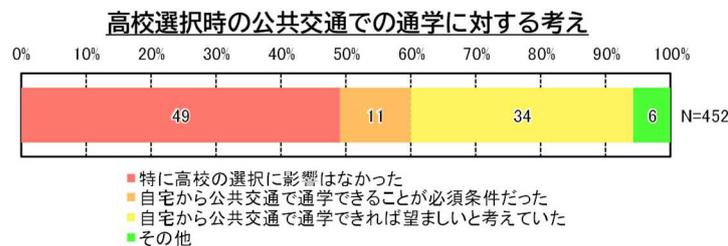
- ・各校とも、通学手段は通常時は**自転車**が最も多く、雨天時は**送迎**が最も多くなっています。

公共交通で通学する際に不満な点

- ・加茂高校、美濃加茂高校、加茂農林高校は「**高校までの時間がかかる**」が最も多い一方、八百津高校は「**運賃が高い**」が多くなっています。

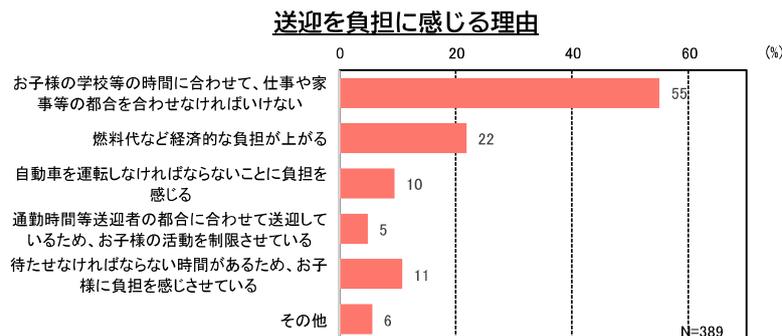
高校選択時の公共交通での通学に対する考え

- ・高校選択時に「公共交通で通学できることが必須条件」、「公共交通で通学できれば望ましい」の合わせて**44%**は公共交通で通学できることが望まれています。



送迎に対する負担感

- ・送迎している保護者の**62%**は、**送迎が負担**になっていると感じたことがあり、特に「学校の時間に合わせて、仕事や家事の都合を合わせなければならない」ことに負担を感じる人が多くなっています。



(3) バス利用者アンケート調査

バス利用目的

	通勤	通学	通院	出張・業務	買い物・食事	観光	習い事・趣味	その他	
全体	12	18	35	1	25	3	5	13	N=237
あい愛バス	19	17	17		25	6	11	19	N=64
川辺町福祉バス	20		32	4	44		4	16	N=25
七宗町営バス		55	36		18				N=11
八百津町西部コミュニティバス			11		78			11	N=9
八百津町東部デマンド交通					50			50	N=2
東鉄バス八百津線	20	13	40		20			13	N=15
濃飛バス白川中央線	13		63		25			13	N=8
濃飛バス白川東白川線	6	22	39	6	11	17	6	11	N=18
白川町予約制バス(JR接続便)	12	50	27		12		4	8	N=26
白川町予約制バス(各地区バス)	2	11	61		23		5	9	N=56

困っていること・公共交通に対する意見（主な意見）

路線	困っていること・公共交通に対する意見
美濃加茂市あい愛バス	・美濃太田駅での路線間やJRとの接続が悪い、往復での時間が合わない
川辺町福祉バス	・休日の移動が困る、美濃加茂市の病院に行きは行けるが帰りの移動手段がない
七宗町営バス	・全便JRと接続してほしい、定住自立圏として圏域内を行き来しやすくしてほしい
八百津町西部コミュニティバス（西部やおまる）	・西部コミュニティバス（西部やおまる）とYA0バスのダイヤを接続してほしい
東鉄バス 八百津線	・本数が少ない、運賃が高い
白川町予約制バス（JR接続便）	・テストで早帰りの日は黒川方面に帰るバスがない

(4) 施設利用者ヒアリング

困っていること・公共交通に対する意見（主な意見）

調査施設	困っていること・公共交通に対する意見
中部国際医療センター	・バスの本数が少ない、増便してほしい
白川病院	・免許返納者への支援がほしい、デマンドを直前まで予約できるようにしてほしい
MEGAドン・キホーテUNY 美濃加茂店	・路線が遠回りで分かりづらい、ベビーカーで利用しづらい
スーパーマーケットバロー 富加店	・自動車でしか来られないので乗れなくなった後の移動が不安
ピアゴ川辺店	・バスに合わせて買い物するのは大変、免許返納しても福祉バスで生活するのは困難
マツオカ白川店	・買い物で利用するには使い勝手がよい
総合福祉会館	・路線が遠回り、使いたいタイミングが合わない
サンホーム七宗	・困っていることはない
古井駅	・テスト期間で午前中に授業が終わっても列車がなく昼過ぎまで帰れない ・朝の混雑を解消してほしい
美濃太田駅	・バスの本数が少ない、下呂方面の本数が少ない

(5) 観光施設利用者ヒアリング

困っていること・公共交通に対する意見（主な意見）

調査施設	困っていること・公共交通に対する意見
人道の丘公園	・乗り換えが多く分かりづらい、観光タクシーの利用方法をPRすべき
クオーレふれあいの里	・ICカードを利用できるようにしてほしい
ぎふ清流里山公園	・遠回りで時間がかかる、利用方法が分からない、バスの本数を増やしてほしい、美濃太田駅の南口と北口での乗り継ぎが悪い

(6) 運行事業者ヒアリング

対象事業者	主なヒアリング結果
鉄道事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰等の影響で運行に係る費用が高額となっている。 ・高校生の通学利用が多い。 ・イベント時は利用者が増加するため、今後も自治体や関係者と連携して実施したい。
バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は減少している一方で、運行経費が増加しており、補助金がないと運行継続が困難になる恐れがある。 ・運行に必要な運転手はぎりぎり確保できているものの、余裕のない状態が続いており、運転手不足が懸念される。 ・他路線との重複区間では、上手くすみ分けができるとよい。
社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・運行経費が増加しており、将来的には補助金が必要になる。 ・新たな移動手段の導入や広域的な連携の検討が必要になる。 ・運転手は現状では足りているものの、運転手の高齢化が進んでおり、今後は運転手確保が課題である。 ・地域で送迎し支え合っているが、今後は難しくなる。

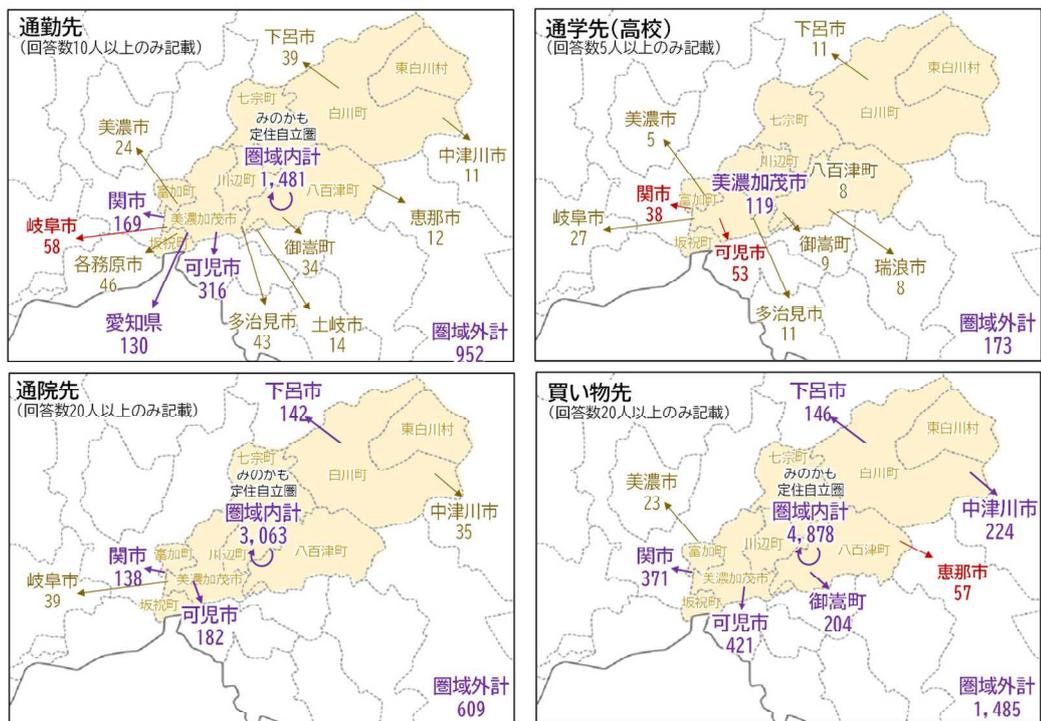
第3章 地域公共交通に係る課題

1. 圏域全体の課題

(1) 広域移動

現状	課題・今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・通院・買い物などの日常生活において、圏域の中心都市である美濃加茂市への移動が多い一方で、圏域外への移動も一定数みられ、生活圏は比較的広範囲にわたっています。 	<p>広域移動手段を確保するため、圏域内の市町村が連携し、複数の幹線交通をつなぐネットワークを構築し、美濃加茂市等の移動ニーズの大きい地域へのアクセス向上を図る必要があります。</p>

目的別市町村間OD図



市町村間OD表 (平日)

[住民アンケート]

	美濃加茂市	坂祝町	富加町	川辺町	七宗町	八百津町	白川町	東白川村	関市	中津川市	可児市	下呂市	愛知県	その他	合計
美濃加茂市	1,010	36	20	29	7	20	7	1	62	2	168	6	91	165	1,623
坂祝町	38	81	3	1	1	1	0	0	12	0	11	1	18	31	198
富加町	21	2	81	2	1	1	1	0	22	0	3	1	7	20	161
川辺町	28	1	2	103	2	3	2	0	5	1	19	1	9	17	193
七宗町	8	1	1	3	29	0	2	0	1	0	2	3	3	2	55
八百津町	19	1	1	3	0	139	0	0	2	1	31	0	14	21	232
白川町	7	0	0	1	2	0	118	0	2	2	5	7	5	9	158
東白川村	1	0	0	0	0	0	1	19	0	2	0	1	1	1	26
関市	62	11	22	5	1	2	1	0							
中津川市	2	0	0	0	0	0	1	2							
可児市	164	10	3	20	1	30	4	1							
下呂市	5	1	1	1	3	0	9	1							
愛知県	92	19	8	9	2	15	3	1							
その他	163	35	18	16	3	22	9	1							
合計	1,621	198	160	194	54	234	158	25							

[人流データ]

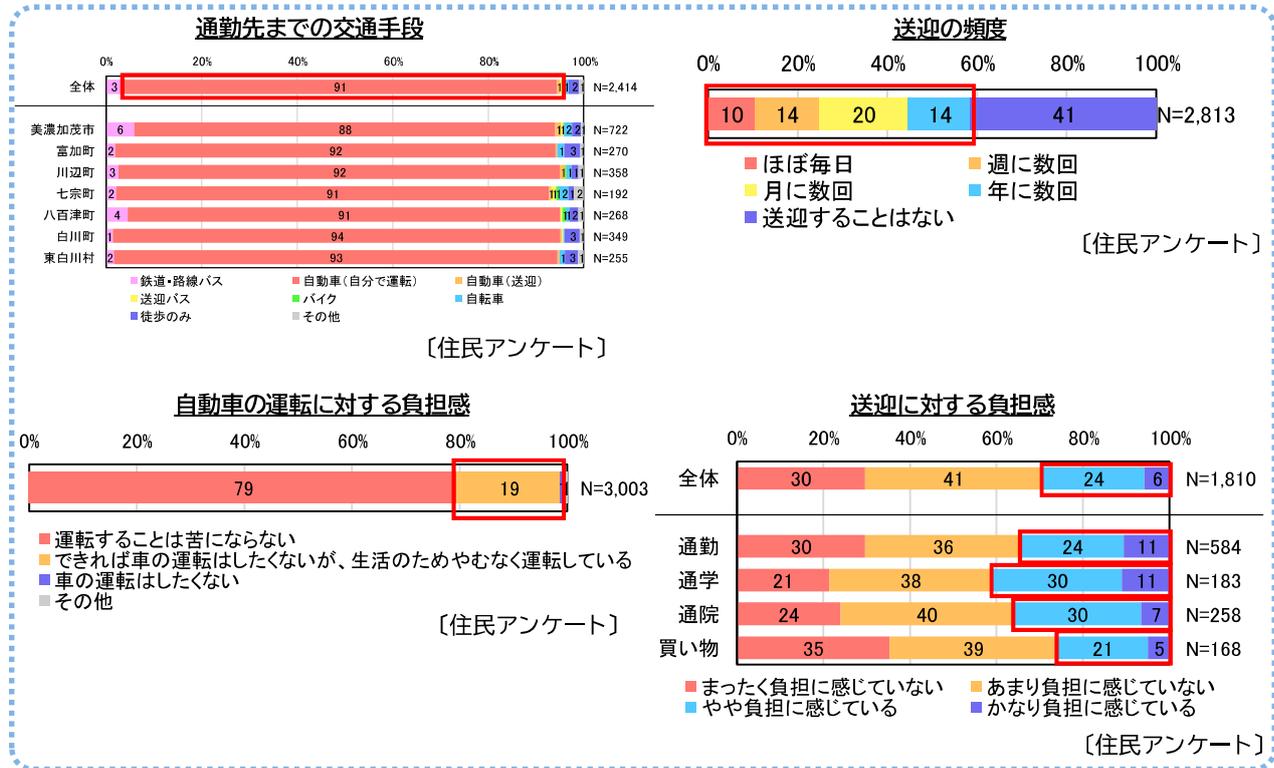
(2) 運転・送迎に対する負担

現状

- 自動車を利用した移動が多く、送迎を行う人も増えています。それに伴い、送迎や運転そのものに負担を感じる人も増加しています。

課題・今後の方向性

少しでも運転の負担の軽減や、送迎の解消・送迎距離の短縮が図れるようにするため、必要な公共交通を確保していく必要があります。



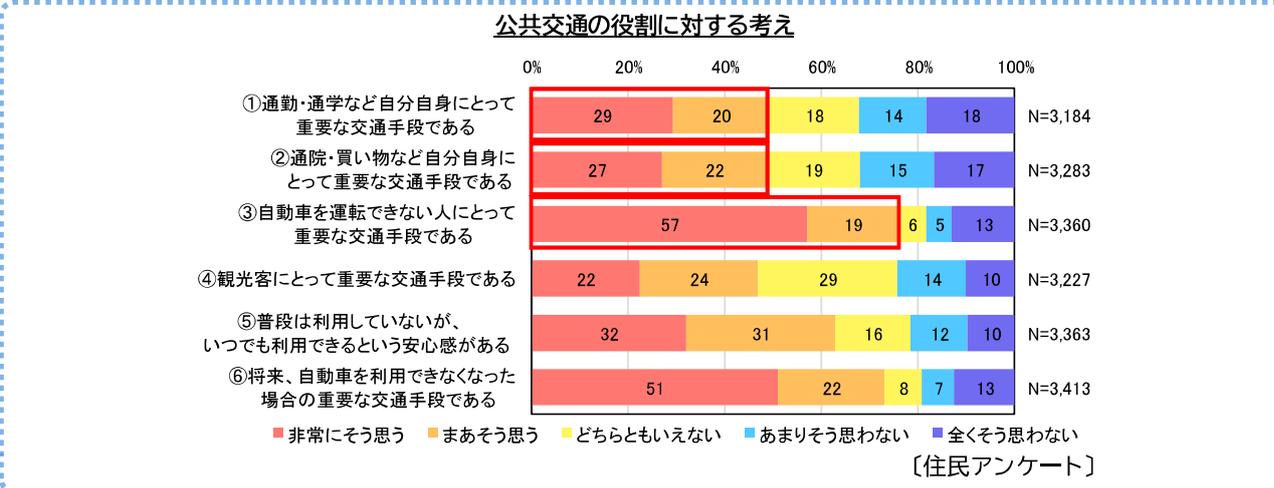
(3) 公共交通に対する意識

現状

- 通勤・通学・通院・買い物時や、自動車を運転できない人にとって、公共交通は重要な交通手段と認識されている人が多くなっています。

課題・今後の方向性

日常生活での移動手段を確保するため、今後も圏域内の公共交通を維持していく必要がある。



(4) 通学手段

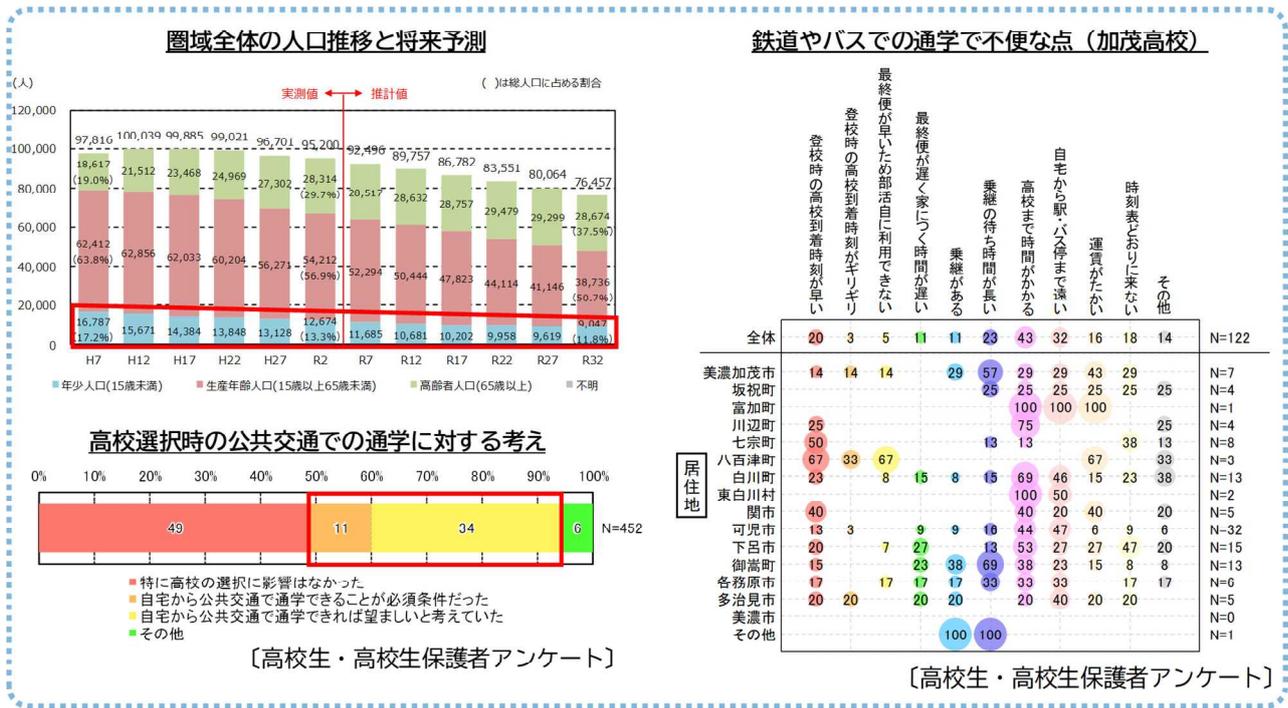
現状

- 今後、**通学需要の減少**が見込まれる中、**高校選択時に公共交通で通学できることが望まれています。**
- 鉄道やバスでの通学で不便な点として、「**高校までの時間がかかる**」、「**運賃が高い**」といった意見がみられています。

課題・今後の方向性

通学用の公共交通の確保は**将来の人口流出抑制**につながることから、**圏域内外の学校に通う高校生等の通学手段を確保**する必要があります。

通学ニーズに応じた公共交通サービスとなるよう、**改善を図る**必要があります。



(5) 持続可能な公共交通の確保

現状

- バス事業者やタクシー事業者の**運転手不足と高齢化**が深刻化しており、公共交通の存続が困難になりつつあります。
- 物価高騰や人件費高騰に伴い、同じサービスを提供する場合でも**運行経費が増加**しており、鉄道、バス、タクシー等の公共交通の存続が困難になりつつあります。

課題・今後の方向性

交通事業者と各市町村が連携し、**運転手の確保と雇用環境改善**を進める必要があります。

関係者が連携し、地域住民や観光客の移動に必要なサービスを提供しつつ、**効率的な運行**を図る必要があります。

2. 各エリアにおける課題

(1) 美濃加茂市

現状	課題・今後の方向性
<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内全域であい愛バスが運行されており、すべての路線がJR美濃太田駅に接続しています。 ● あい愛バスから鉄道に乗り継ぐことで各方面への移動が可能です。 ● JR高山本線とあい愛バスの乗り継ぎが悪い時間帯があります。【施設利用者ヒアリング】 <p>【利用実態・移動ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 圏域内の各町村から美濃加茂市への移動が多くなっています。【住民アンケート・人流データ】 ● 名鉄可児川駅から美濃加茂高校方面への通学利用が多く、積み残しによる増車対応が行われています。 ● 古井駅から可児市・御嵩町方面の高校まで自転車で通学している生徒が一定数みられます。【施設利用者ヒアリング】 ● 市周辺部では隣接町の施設（商業・医療）への移動ニーズが高く、個別で対応する必要があります。（例：蜂屋地区⇔富加町、三和地区⇔川辺町）【施設利用者ヒアリング・人流データ・住民懇談会】 	<p>【広域公共交通ネットワークの確保】</p> <p>圏域内の各町村からの幹線公共交通を維持し、市外からの来訪者が美濃太田駅等の拠点で乗り継ぐことで市内目的地に移動できる公共交通ネットワークを引き続き確保していく必要があります。</p> <p>【通学に便利な公共交通ネットワークの整備】</p> <p>名鉄可児川駅から美濃加茂高校方面や古井駅から可児市・御嵩町方面など、高校への通学に利用しやすい公共交通ネットワークを整備する必要があります。</p> <p>【隣接市町との連携】</p> <p>市周辺部から市外への日常生活の移動ニーズについて、隣接町とのバスの相互乗り入れ等、引き続き連携を図っていく必要があります。</p>

(2) 坂祝町

現状	課題・今後の方向性
<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JR高山本線の坂祝駅があり、岐阜市方面、美濃加茂市方面へのアクセスが可能です。 ● 町内の移動手段として定時定路線型のほぎもんバスや、高齢者等移動に不便をきたしている方を対象としたデマンドタクシーが運行しています。 ● ほぎもんバスやデマンドタクシーにより、美濃加茂市の中部国際医療センターやスーパーマーケットバロー太田店などへのアクセスも可能です。 <p>【利用実態・移動ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内には商業施設や医療施設が少ないため、美濃加茂市方面での通院や買い物を目的とした移動ニーズが高く、町民による美濃加茂市内への移動が多くみられます。[住民アンケート・人流データ] 	<p>【通学に便利な公共交通ネットワークの維持】</p> <p>引き続き高校への通学に利用しやすい公共交通ネットワークを維持する必要があります。</p> <p>【隣接市町との連携】</p> <p>市町境付近に立地する施設(スーパーマーケットバロー太田店等)へのアクセスについて、需要も考慮しながら、隣接市町のバスの乗り入れ等、引き続き連携を図っていく必要があります。</p>

(3) 富加町

現状	課題・今後の方向性
<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内には長良川鉄道富加駅があるほか、関シティバス、あい愛バスが乗り入れており、美濃加茂市や関市へのアクセスが可能です。 ● 高校生は、北部では関シティバス、南部では長良川鉄道を利用して通学が可能です。 ● 高齢者等移動支援事業により一部の町民は駅等への移動が可能です。対象者以外は駅やバス停に接続する公共交通がなく、移動しづらい地域が存在します。 <p>【利用実態・移動ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内から美濃加茂市や関市への移動が多くなっています。【住民アンケート・人流データ】 ● 高齢者等移動支援事業の対象者以外の町内の移動に関しては、現状困っている人は少ない状況です。【住民アンケート】 ● スーパーマーケットバロー富加店はあい愛バス等を活用した美濃加茂市西部（蜂屋地区等）からの利用があります。【施設利用者ヒアリング・人流データ】 	<p>【広域公共交通ネットワークの確保】</p> <p>引き続き、周辺市を結ぶ鉄道・バスを維持し、通学や通院に利用可能な周辺への広域公共交通ネットワークを確保していく必要があります。</p> <p>【ラストワンマイル交通の確保】</p> <p>現状では駅やバス停までの移動に困っているという意見は少ないものの、各地区から駅・バス停までの公共交通手段確保の必要性について長期的に検討していく必要があります。</p> <p>【近隣市町と連携した公共交通の確保】</p> <p>市町境付近に立地する施設（スーパーマーケットバロー富加店等）へのアクセスについて、需要も考慮しながら、隣接市町のバスの乗り入れ等、引き続き連携を図っていく必要があります。</p>

(4) 川辺町

現状	課題・今後の方向性
<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内にはJR高山本線の中川辺駅、下麻生駅があるほか、川辺町福祉バスが運行されています。 ● JR高山本線や川辺町福祉バスにより、美濃加茂市方面へのアクセスが可能です。 ● 通学は中川辺駅からJR高山本線が利用可能ですが、駅までは公共交通以外でアクセスする必要があります。 ● 福祉バスは、全バス停から美濃加茂方面に利用できるダイヤが設定されています。 <p>【利用実態・移動ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内から美濃加茂市への移動ニーズが高くなっています。 ● 通学のための中川辺駅までのアクセスについては、特に要望意見はありません。 ● 福祉バスは、利用が伸び悩んでいます。[利用実績] ● 美濃加茂市三和地区から川辺町内の施設（商業・医療）へのニーズがあるものの、現状の公共交通では行きづらい状況です。[住民懇談会] 	<p>【福祉バス（美濃加茂便）の利便性向上】 美濃加茂市内の施設等に直接乗り入れている福祉バスの美濃加茂系統について、美濃加茂市内のバス停設定や時間帯等、利便性向上を図る必要があります。</p> <p>【通学に便利な公共交通ネットワークの維持】 引き続き高校への通学に利用しやすい公共交通ネットワークを維持する必要があります。</p> <p>【隣接市町との連携】 三和地区～川辺町間の公共交通手段確保の必要性や方法について検証する必要があります。（例：市町境付近での接続、美濃太田駅経由でのダイヤ調整・案内等）</p>

(5) 七宗町

現状	課題・今後の方向性
<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内にはJR高山本線の上麻生駅があり、美濃加茂市方面へのアクセスが可能です。 ● 上麻生駅を拠点に七宗町営バスが運行されているほか、福祉巡回バスと七宗町生活支援バスが運行されています。 <p>【利用実態・移動ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 七宗町営バスは、JR高山本線と乗り継いで主に高校生の通学に利用されています。 ● 高校への通学では、七宗町営バスとJRとの乗り継ぎ利便性に対して不満の声がみられます。[利用者アンケート] ● 福祉巡回バスと七宗町生活支援バスは主に高齢者の買い物や通院に利用されています。 ● 町内に商業施設や医療施設が少なく、美濃加茂市内やピアゴ川辺店、マツオカ武儀店等への移動ニーズが高いため、生活支援バスで町外への移動ができるようになっていますが、現状の公共交通では不便との声があります。[利用者アンケート、人流データ] 	<p>【町営バスとJR高山本線の接続の維持】</p> <p>町外への通学や通院に公共交通が利用できるよう、七宗町営バスと上麻生駅との接続ダイヤを維持（一部改善）していく必要があります。</p> <p>【買い物ニーズに合った公共交通サービスの改善】</p> <p>近隣市町への買い物ニーズについて検証したうえで、ニーズに対応した移動手段を確保する必要があります。</p> <p>【福祉政策と連携した公共交通の構築】</p> <p>七宗町営バスと福祉巡回バス・七宗町生活支援バスの連携による利便性・効率性の向上を検討する必要があります。</p>

(6) 八百津町

現状	課題・今後の方向性
<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町外へのアクセス手段として、美濃加茂市方面へは東鉄バス八百津線、可児市・御嵩町方面へはYA0バスが運行されています。 ● 町内では定時定路線の西部やおまる、デマンド交通の東部やおまるがエリアを分けて運行しています。西部やおまるは川辺町に乗り入れています。 ● 観光地である人道の丘周辺への移動手段として、西部やおまるが利用できるほか、無料観光シャトルタクシーも運行されています。しかし、町外から観光地へアクセスするには名鉄、YA0バス、西部やおまる等と複数回乗り継ぐ必要があります。 <p>【利用実態・移動ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 美濃加茂市、可児市への移動ニーズが高くなっていますが、現行の定時定路線バスについて運行本数や時間帯等について不便との意見が聞かれます。 <p>【住民アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東鉄バス八百津線は、八百津高校や美濃加茂市内の高校への通学手段、中部国際医療センターへの通院手段として重要な機能を果たしている一方で、利用者数が大きく減少し、国庫補助対象外となり、路線の存続が厳しい状況です。【住民アンケート、利用者アンケート】 ● 東部やおまるの利用者数は増加している一方で、西部やおまるは、利用者数が低迷しています。低迷の要因として、便数が少ないことや路線が複雑で目的地との往復に時間が掛かることで、利用し辛いとの声があります。【利用実績】 ● 無料観光シャトルタクシーの認知度は低い状況です。【観光施設ヒアリング】 	<p>【幹線交通の維持】</p> <p>東鉄バス八百津線、YA0バスについては、通学や通院の移動手段を確保するため、名鉄広見線の動向にも注視しながら、今後も運行継続するとともに、負担金割合や運行形態の見直し等、持続可能な路線となるよう検討する必要があります。</p> <p>【実態・ニーズに合わせた運行サービスへの見直し】</p> <p>八百津町～川辺町間の双方向の移動実態・移動ニーズについて検証したうえで、路線や運行ダイヤの見直しを検討する必要があります。</p> <p>【地域別ニーズへの対応】</p> <p>地域ごとの利用実態とニーズを把握したうえで、デマンド型交通の拡充を含む路線や運行形態の見直しを検討する必要があります。</p> <p>【観光資源との連携】</p> <p>観光客が観光地への移動をスムーズに行えるよう、公共交通によるアクセスの周知を図り、地域の集客力とアクセス向上の両立を図る必要があります。</p>

(7) 白川町

現状	課題・今後の方向性
<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内にはJR高山本線の白川口駅や下油井駅があり、美濃加茂市方面へのアクセスが可能です。 ● JR高山本線の白川口駅や下油井駅までは、濃飛バス白川中央線や予約制バスのJR接続便により、町内各地からアクセスが可能です。 ● 町内の移動手段として、町内各地区にデマンド型の予約制バスが運行しています。 <p>【利用実態・移動ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JR高山本線と町内の公共交通を乗り継ぐことで、各地区から美濃加茂方面の高校への通学や通院が多くなっています。 ● 白川町から美濃加茂市方面への移動は、高校生の通学や通院を目的とした利用が多くを占めています。高校生の多くは駅から自転車通学であり、移動手段が限定されており、利便性に課題があります。 ● 美濃加茂市には商業施設や娯楽施設が複数立地しており、利用ニーズも高くなっています。一方で、公共交通でのアクセス方法がわからず、利用につながっていないケースがみられます。 	<p>【JR高山本線と連携したネットワークの維持】</p> <p>引き続き、各地区から駅までのアクセスを確保し、JR高山本線との連携により、限られた資源の中で必要な通学や通院手段を確保していく必要があります。</p> <p>圏域内の公共交通を一体的に捉え、路線間の接続性や乗継の利便性向上を図ることで、より広域的な移動の円滑化を進めます。</p> <p>高校生や通院利用者が公共交通を円滑に利用できるよう、主要駅等における案内表示の改善を進め、安心して利用できる環境整備を図ります。</p>

(8) 東白川村

現状	課題・今後の方向性
<p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 村内の移動手段として、村内各地区を毎日運行するつちのこバス（定時定路線）が運行しています。 ● 濃飛バス白川東白川線とJR高山本線を乗り継ぐことで美濃加茂市方面へのアクセスが可能です。 <p>【利用実態・移動ニーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 白川東白川線とJR高山本線を乗り継ぎ高校への通学に利用されているほか、白川東白川線は白川病院への通院にも利用されています。 ● 白川東白川線とつちのこバスの重複区間において、従来の白川東白川線の利用者の中には、つちのこバスに転換した利用者もみられます。 	<p>【つちのこバスと白川東白川線の連携】</p> <p>引き続き、つちのこバスと白川東白川線の連携を確保し、村内の各地区から白川町方面へ移動できるサービスを確保していく必要があります。</p> <p>【JR高山本線と連携したネットワークの維持】</p> <p>引き続き、JR高山本線との連携により、限られた資源の中で必要な通学や通院手段を確保していく必要があります。</p>